

創域理工学研究科 生命生物学専攻

**人材養成等に関する目的**  
 学部で培った基礎に立脚して微生物から動植物に至る生物学の基本法則を探求し、さらに一つの学問領域や専攻だけで解決できない問題に対しては、理学・農学・医学・薬学・工学などの枠を超えて取り組むとともに、分野横断的に俯瞰した国際的な視点から共に響き合うことによって、多様化した人材交流を通して科学と技術の新しい領域を創出し、新たな価値を創造し、かつ実践できる人材を育成する。

**カリキュラム・ポリシー(抜粋)**  
 1. 修士課程においては、学士課程で養った教養、基礎学力、専門知識を基礎として、さらに「専門科目」「一般教養科目」「研究指導」により、本専攻で定める目的を実現するための教育課程を編成すると共に、生物学と学際的分野を融合した教育研究体制を配置する。  
 2. 博士後期課程においては、修士課程で養った高度な専門的知識や研究開発能力を基礎として、さらに「研究指導」「一般教養科目」により本専攻で定める目的を実現するための教育課程を編成すると共に、生物学と学際的分野を融合した教育研究体制を配置する。  
 ※[https://www.tus.ac.jp/about/graduate\\_school/policy/](https://www.tus.ac.jp/about/graduate_school/policy/)

※下記は2026年度入学生が対象のため、「必修」「選択必修」「選択」の区分や科目が2026年度以前入学者と一部異なります。詳細は各自の入学年度の大学院要覧を確認し、それに従って下さい。  
 ※※コース制に伴う科目については、修了単位に含まれないため省略してあります。

